

8月1日(土)学校説明会アンケートに寄せられた質問

1. 学校生活について

Q1 「いじめ」の有無と、その対策について教えてください。

A1 日頃から二者面談をことあるごとに行い生徒と話ができる機会を多く設けています。また、クラス担任・副担任・学年の教員が休み時間にも教室を巡回し、生徒たちの学校生活を見守っています。さらに、校内に「いじめ防止対策委員会」を設置し、生徒および保護者へのアンケートにより生徒の様子の把握に努めるなどいじめ防止に積極的に取り組んでいます。

Q2 担任制について、生徒と教員との関わり方を教えてください。

A2 各クラスに担任・副担任がおり、2人体制でクラス運営を行っています。また、お昼には、ランチボックスを教室で一緒に摂るなど、生徒の近くに教員がいることを常態化するようにしています。生徒と教員の距離感はとても近く、お互いに気楽に話しかけられる雰囲気が本校の自慢です。

Q3 授業の様子はどうですか。

A3 集中して授業内の活動に取り組んでいます。発言が求められる際には、しっかりと手を挙げて発言のできる生徒を育てています。

Q4 普段の生徒の雰囲気はどうですか。

A4 明るく元気な生徒が多いです。それは、生徒と教員の距離感はとても近く、お互いに気楽に話しかけられる雰囲気があるからだと思っています。

Q5 在校生の通学時間はどのくらいですか。

A5 通学時間の平均は、およそ40～50分です。区外や隣接県から通学してくる生徒も多く、1時間以上かけて通学している生徒も多数います。

Q6 共学化後の男子生徒の様子はどうですか。

A6 今までと変わらず、活発に学校生活を送っています。女子生徒への配慮も学んでいるようです。

2. 学習について

Q7 夏期講習やゼミなどがありますか。

A7 長期休業期間(夏休み・冬休み)には特別講習があります。ゼミは高校で哲学ゼミを希望制で受講可能です。

Q8 宿題はどの程度課されますか。

A8 日によってこととなりますが、授業ごとに宿題を課しています。各教科で、基礎事項を確認するために宿題は課されます。特に国・数・英3科目では、一日20分程度の量の宿題を課しています。また、週末課題が課されることもあります。

Q9 各教科の授業の進め方に特徴はありますか。

A9 6年後の受験を見据え、一般受検に対応しうる力を身に付けられる授業展開をしています。各教科において中学校で履修すべき事項を網羅することはもちろんのこと、さらに深い内容を学習しています。特に、英語は知識を身に付けるだけでなく、実践練習も授業内外でできるように生徒に機会を与えています。また、数学と理科は先取り学習により、中3の段階では、高1の内容を扱っています。

Q10 自習室の利用状況について教えてください。

A10 中高生が平等に使用しています。常に中高合わせて30名ほどが使用していますが、試験前は満席になります。

3. 部活動について

Q11 部活動全般の活動状況を教えてください。

A11 活動日等は部によって異なりますが、運動部(強化部を除く)は週2~4日、文化部は週1~4日活動しています。

Q12 女子の部活動の様子はどうか。

A12 どの部も活発です。自発的に練習時間を増やす努力をしています。

Q13 剣道部での女子の練習の様子はどうか。

A13 中学女子の部員は残念ながら現時点においてはいませんが、高校女子の部員は、男子生徒と合同で練習を行っています。

4. 入試について

Q14 第1・2回を両方とも受験する場合、待機場所などがありますか。

A14 待機場所を確保しておりますので、お昼をご持参頂ければ、そちらでお召し上がりいただけます。

5. 進学について

Q15 高校進学後のクラス分けについて教えてください。

A15 高校進学後は、原則として中高一貫クラスと高入生クラスを別々にクラス編成し、双方の生徒が混ざることはありません。また、高校1・2年次は、それぞれに難関国公立クラス、国公立大・難関私立大クラスの2種類のクラス編成となります。高校3年次では、難関国公立大クラス、国公立大・難関私立大クラス、東洋大学クラスの3つに分かれます。

Q16 大学入試制度改革への対応について教えてください。

A16 大学入試制度改革では、知識だけを問うのではなく、「思考力・判断力・表現力」も問う問題が追加されることを基本に改革案が構成されています。本校の行っている「哲学教育」では、アクティブラーニングを通じて、生徒が自ら考え、行動し、発言・表現する力を養っています。この哲学教育が大学入試改革への対応につながっていきます。

6. その他

Q17 国際交流、海外研修はどのようなものがありますか。

A17 国際交流においては、Let's Chat in English!という行事を行っています。東洋大学の留学生を本校に招き、相互の文化などについて話をする場合があります。海外研修は、中学3年次にカナダへの修学旅行が必須となっています。希望制で中学1年~高校2年生を対象に冬にセブ島英語研修、高校1年~2年生を対象に夏にオレゴンサマープログラムという研修制度があります。

Q18 入学金など、初年度納付金の他に、諸経費はいくらほどかかりますか。

A18 各学年によって異なりますが、今年度1年生は約22万円ほどです。

Q19 ランチボックスについて教えてください。

A19 主菜・副菜・主食・デザートなどが提供されています。女子生徒にはご飯の量が多く、男子生徒には少なく感じるようです。足りない場合は、おにぎりを持参したり、購買で購入をするなどして補うことは可能です。

Q20 弁当持参の生徒の割合を教えてください。

A20 中学生はランチボックスでお昼を摂っています。アレルギー等により食べることができない場合はお弁当を持参していただくこととなります。

Q21 修学旅行について教えてください。

A21 現1年生から、5泊7日でカナダのバンクーバーに滞在します。ホームステイも体験しますので、旅行だけでなく異文化交流も可能になるよう計画しています。

Q22 教員の専任率を教えてください。

A22 教員の約6割が専任教員として勤務しています。

Q23 学校の設備について教えてください。

A23 全教室が冷暖房完備です。カフェテリア(食堂)、視聴覚室、図書室、地下のアリーナ(体育館)、ICT教室、自習室などの優れた施設があります。広々とした昇降口、廊下、階段が印象的で、ゆとりある空間で、充実した学校生活を送ることができます。より詳しい設備は、パンフレットやHPでもご確認いただけます。

Q24 PTAの活動状況を教えてください。

A24 本校では、「保護者の会」として、生徒たちの学校生活をサポートしていただいています。クラス、学年の活動の他、文化祭での出展や、広報誌の発行などを行っています。